
XML コンソーシアム、 「エンタープライズ・システムのための Web 2.0」 提言書を公開

XML コンソーシアム（会長：鶴保証城（独）情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター所長）は、Web 2.0 部会、Web サービス実証部会における活動成果をもとに「エンタープライズ・システムのための Web 2.0 提言書」をとりまとめ、本日より公開を開始いたします。

昨今、「Web 2.0」という言葉に注目が集まっていますが、「Web 2.0」に総称される技術やビジネスモデルの企業情報システム（エンタープライズ・システム）における採用は、いまだに疑問視されることもあり、あまり進んでいないのが実情です。そこで、XML コンソーシアムでは、Web 2.0 部会と Web サービス実証部会の活動成果をもとに、企業情報システムにおける Web 2.0 実装の手引きとして「エンタープライズ・システムのための提言書」をまとめました。

鶴保証城 XML コンソーシアム会長は、「いまや、インターネットの普及によってソフトウェア産業そのものが新しい時代に突入しようとしています。そのような中で、SaaS (Software as a Service)をはじめとする Web 2.0 化の流れは企業情報システムにおいても避けられないことであり、この提言書が今後の企業情報システムを考える上で一助となることを期待しています。」と述べました。

XML コンソーシアムでは、今後とも「XML 濃度の高い Web」といわれる Web 2.0 の技術や考え方が、企業情報システムにおいても幅広く有効に活用されるための活動を続けてまいります。

「エンタープライズ・システムのための Web 2.0 提言書」の概要

巻頭言 エンタープライズ・システムにとっての Web 2.0 と技術ビジョン

1. はじめに ~この提言書の読み方・使い方

参考：XML Consortium 会員企業による Web2.0 についてのアンケート結果

2. マッシュアップ・アプリケーションを組んでみる

2.1. XSLT マッシュアップ ~マッシュアップのサンプル

2.2 3種の呼び出し方式を連携させて作るマッシュアップ

- 3 . Web 2.0 の要素技術をエンタープライズに導入するために
 - 3.1 Web サービス(Web API)や役立つリソースの探し方
 - 3.2 ノン・プログラミング・マッシュアップ・ツール群
 - 3.3 Ajax 開発手法 ~ 様々な Ajax フレームワークとライブラリ導入の実際
 - 3.4 ASP.NET AJAX 開発手法
 - 3.5 Web2.0 アプリケーションのテスト手法
 - 3.6 なぜ"Ruby on Rails"がエンタープライズ、Web 2.0 向きか？
 - 3.7 軽量言語 Python と Web アプリケーション・フレームワーク
 - 3.8 Web 2.0 時代の WebServices ~ SOAP/REST 使い分けの指針
 - 3.9 エンタープライズ・マッシュアップを加速する法的メタデータ活用
- 4 . エンタープライズ Web アプリケーション最新事例
 - 4.1 エンタープライズ・システムの視点から最新のマッシュアップ・サービスを俯瞰
 - 4.2 WebOS : 究極のエンタープライズ Web アプリケーション
- 5 . Web 2.0 のビジネスモデル
 - 5.1 サービス化と Web 2.0 のビジネスモデル
 - 5.2 Web サービス(Web API)公開による収益モデル
- 6 . おわりに
 - ~ Web 2.0 の要素の大半を体現した SaaS によりエンタープライズの「2.0」化は不可逆的に進行している

執筆メンバーについて

本提言書の執筆は、Web 2.0部会、Webサービス実証部会の活動メンバーから、アドソル日進(株)、(株)NTTPCコミュニケーションズ、Sky(株)、東芝ソリューション(株)、日本ユニシス(株)、日立ソフトウェアエンジニアリング(株)、PFUアクティブラボ(株)、メタデータ(株)、(株)リクルートが担当いたしました。

Web 2.0 部会について

Web 2.0 部会は、2006 年 3 月および 4 月の Web 2.0 勉強会を経て、2006 年 6 月に発足した部会です。Web 2.0 部会では、WebAPI 活用の上に独自の XML 変換技術を適用したエンタープライズ・マッシュアップの研究試作から、Ajax、軽量言語、WebAPI 調査法、そして Web 2.0 アプリのテスト手法を中心とする Web 2.0 の開発環境の比較調査、検証を積み重ねてまいりました。また、当初から Web 2.0 時代の Web サービスをテーマに掲げ、SOAP 型と REST 型の Web サービス使い分けの指針や、Web 2.0 的なビジネスモデルの図解を目標に掲げて活動しています。

Web サービス実証部会について

Web サービス実証部会は、企業における Web サービスの実装にあたって必要となる相互

接続などの実証を行ってまいりました。たとえば、2005年には、メタデータ活用部会とともに、2005年の愛・地球博向けに数多くのWebサービスを組み合わせた旅行案内システムを試作しました。その後、その実績をもとに、エンタープライズ・システムのTCO削減に効果的と考えられる究極のWebアプリケーションとしてWebOSを取り上げ、WebOSのAPIを活用したアプリケーションを研究・試作するなど、「実証」をベースに新しいWebサービス技術の実装研究を進めています。

XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおけるXML技術の適用に貢献してまいります。

< 本件に関するお問合せ先 >

XML コンソーシアム事務局 野田 （富士ソフト株式会社内）

TEL. 03-5600-6205

E-mail. xmlcons@fsi.co.jp

URL <http://www.xmlconsortium.org/>

以上